

「青中と地域を結ぶ架け橋」

教育後援会会長 山田祐一郎

会長として四年目青迎えました。今年度もよろしく願います。

後援会の主な活動は、

- ・ PTA、教員へのサポート
- ・ 学校行事への参加・協力
- ・ 学習外活動の支援
- ・ などです。

会員の多くは卒業生の保護者ですが、活動目的に賛同いただける方であれば、どなたでもご加入頂けます。私たちは学校と地元住民とが強く結びつくことで、生徒たちが地域社会に開かれた学習環境を享受できると考えます。今般のコロナ禍という思いがけない事態に遭遇し、社会の問題点が数多く浮き彫りになりました。中でも小中学校に通う子ども達の学習機会が数か月にわたり奪われたことに心を痛めた方々も多いでしょう。危機的状況下では、組織の枠を超えた知識や資源の共有が迅速な回復の要となります。地域に根差した基礎教育を通じて、開かれた社会、開かれた人材が成長することを願っています。

「引き継ぐものを大切に」

学校長 川鍋岳人

教育後援会会員の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして多大なるご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校も臨時休業が続いております。子供たちには、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいです。今しばらく、感染拡大防止に向けて頑張つてほしいと思います。

そんな中でも、この試練の壁は必ず乗り越えられると信じています。乗り越えた先に、子供たちの笑顔が見えています。なぜなら、青木中学校は、70年を超えて教育活動を続けてきた実績があり、常に教育後援会を始め地域の皆様に見守られ、支えられてきたからです。先が見えない現状で、支援や実績があることほど、頼りになることはありません。

今年度もこれまで本校が築き上げてきた伝統を継承しつつ、新たな時代を生きる生徒の育成に全力を傾注していく覚悟です。引き続き、力強いご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

「特別な年度を迎えて」

PTA会長 池田浩宣

初夏の候、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。又、日頃よりPTAの活動に、ご協力とご理解を頂き、心から御礼申し上げます。

本年は、新型コロナウイルス感染拡大により発せられた学校休業に伴い、PTA活動も自粛を余儀なくされました。そんな中、学校行事の中でも特に重きを置く、卒業式・入学式が縮小とはいえ行われましたのも、校長先生はじめ教職員の皆様のご努力の賜物と、心から御礼申し上げる次第です。

さて2か月遅れでスタートした令和2年度ですが、例年と違う年度となることは必定です。正にこの年度、学校・家庭・地域がなお一層手を取り合つて、生徒のための教育環境作りに邁進することこそ大切かと思ひます。教育後援会の皆様方におかれましては、引き続き、ご協力ご理解いただけたならと思います。

令和2年度総会 開催中止

去る六月五日（金）、新生会館にて令和2年度総会が開催を予定しておりましたが、コロナウイルス感染拡大予防のため開催を中止とさせていただきます。

助成金贈呈



7月5日、校長室にて教育後援会からの助成金を贈呈致しました。

内訳は次のとおりです。

◆学校へ

環境教育助成金 20万円

◆PTAへ

PTA助成金 20万円

体育文化奨励基金 20万円

新役員です。よろしくお願い致します。

会長	山田祐一郎
副会長	細山博泰 平賀正純 川原 淳 高野善夫 奥山峰浩 小檜山ひとみ 武林みのり 山下和代 山野栄子 小林充幸 坂井敏治 高橋達樹 堀江正幸 竹之内友子
監査	内田洋子 向井恭子

※青木中学校 HP(<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp>)の「教育後援会だより」にて樟風がご覧いただけます。

昨年度卒業生の皆さまには次号はHPよりご覧ください。